

## 議案第 15 号賛成討論（討論順）

門原武志議員

今回の新年度予算案は骨格予算。基本的にこれまでの事業を継続する性質の事業が組み込まれていると理解。井俣町長の政治姿勢についての評価を述べたい。前町長が9月までの任期を見越していたのか、例年通りの本格予算を議会に提案し認められたが、その後4月5日に突然、5月21日付けの辞職を表明したため5月20日の町長選挙で誰が当選しても、本格的な予算に選挙公約にもとづく新規事業を盛り込むことは困難な状況となった。年度の大半を前任者が組んだ予算の執行に手を取られ、内容確認のために執行が遅れた事業があった。そうしたことを繰り返さないために、次の町長が誰になっても、その政策を反映した補正予算の編成を待ち、町政に停滞をもたらさないようにという井俣町長の姿勢を評価する。財政調整基金の取り崩さずに予算編成が出来たことは、日ごろから、事業を精査してきたことの現れで、この点も評価すべきだ。

中野まさひろ議員

「令和4年度東郷町一般会計予算」は、4月の町長選挙を見据えた骨格予算であるが、数々の評価すべき事業が組まれている。①民間のノウハウを活用した「保育所等整備事業」②小学校水泳指導業務委託事業③オーラルフレイル予防教室④デマンドタクシー運行事業⑤若者向けにジムを利用した保健指導⑥高齢者の保健事業と介護予防の一体化⑦保育士宿舎借り上げ事業⑧東郷町産食材や有機栽培食材を取り入れた給食の充実⑨小学校屋内運動場照明機器のLED照明化等々、評価できる事業が予算化されている。これらを積極的に評価し賛成する。